

令和2年度（2020年度）球磨教育事務所取組の重点

子供たちの「生きる力」を育む教育の充実に向け、家庭・地域社会から信頼される学校づくりを推進するとともに、児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえて健全な心身の育成と学力の充実に取り組み、すべての子供たちが「学ぶ意味」を問いながら「能動的に学び続ける力」を身に付けるよう教育指導の充実を図る。

「熊本の学び」の推進

いじめ・不登校の未然防止と解消

不祥事防止

～“認め、ほめ、励まし、伸ばす”教育行動指標を踏まえた教育の実現を目指して～

【重点努力事項】

社会に開かれた教育課程の推進		
教育目標の実現に向けて、カリキュラム・マネジメントを確立し、各学校が育成を目指す資質・能力を学校・子供・家庭・地域・行政の五者で共有し、連携・協働するとともに、定期的な評価・改善により教育活動の質の向上を図る。		
確かな学力の育成	豊かな心の育成	健康な体の育成
<ul style="list-style-type: none"> ○ 熊本の授業づくりの理念の下、確かな指導観に基づき、子供たちの学びの側から学習を構想することにより、子供たちが問いを発し、課題に主体的に立ち向かい、学びを深める授業改善の推進 ○ 国や県の学力・学習状況調査の個人票などの分析結果と課題に応じた学習プリントの効果的な活用の推進による、子供の学びと教師の授業改善に効果的な学力向上検証改善サイクルの確立 ○ 家庭と連携を図りながら、子供たちの学習習慣形成を促す取組の推進 ○ 英語が「好き」「分かる」児童生徒の育成に向けた授業改善の推進 ○ グローバル人材の育成に向けた、教員研修の充実、中学生の外部検定試験の活用促進及び言語活動の工夫等による、英語教育の一層の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳科の授業を要とした道徳教育の推進に向けた、多様で効果的な指導方法の改善及び児童生徒の成長を促す評価の充実 ○ 「熊本の心」や「つなぐ～熊本の明日へ～」等を活用促進し、家庭や地域と連携しながら、郷土を愛する心などの育成を図る取組の推進 ○ 学校総体とした居場所のある学校・学級づくりの推進を目指し、不登校対策委員会及び「不登校支援シート」等を活用した指導の充実 ○ 定期的なアンケート調査と教育相談の実施等による、いじめの未然防止及び早期対応の充実 ○ 教科等横断的な視点からの環境に関する学習の推進や学校版環境ISO、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の一層の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育・保健体育授業の一層の充実及び教育活動全体を通じた体力向上の取組の推進 ○ 「運動部活動の指針」及び「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」を基にした、適正な運動部活動及びスポーツ活動の推進 ○ 健康な生活習慣の形成に向けた、組織的対応による保健管理の徹底と食育の充実 ○ 学校安全計画等に基づいた、組織的な安全管理の充実 ○ 防災主任の役割を明確にし、地域の実態に応じた実践的な避難訓練等の実施及び家庭、地域、関係機関等との連携・協働による防災教育の充実
人権教育の充実 ～人権尊重の精神に立った学校づくり～		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 推進体制の機能強化と研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組の成果と課題を踏まえ、推進体制の機能を強化し、学校全体で積極的に取り組む環境整備 ・同和問題（部落差別）をはじめとする様々な人権問題についての基本的認識を深め、実践的指導力を高める計画的な研修（関係法令・施策等の理解とOJTの充実）の実施 ○ 指導方法等の工夫・改善 <ul style="list-style-type: none"> ・教育の根幹に人権教育を据え、児童生徒にしっかりと寄り添い、一人一人を大切に人権尊重の精神がみなぎる教育環境づくり ・「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」や人権教育推進資料等の活用 ・学校間及び家庭・地域、関係機関等との連携を図り、児童生徒の自己実現を目指した確かな学力の育成と進路指導の充実 		
特別支援教育の充実		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・本人・保護者と合意形成を図った上での「合理的配慮」の決定と、「合理的配慮」を提供できる体制の構築 ・障がいのある児童生徒とない児童生徒の相互理解を深め、共に尊重し協働して生活する態度を養い、社会性や豊かな人間性等を育むための交流及び共同学習の充実 ○ 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の徹底と切れ目ない支援体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の障がい種に応じた適正な教育課程の編成と、すべての児童生徒にとって分かりやすいユニバーサルデザインの視点に基づいた授業の実現 ・一貫した指導・支援を提供するための「段階的な支援体制の整備」に基づいた関係機関との連携と、「個別的教育支援計画」等による確実な引継ぎ ○ 教職員の専門性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・「特別支援学級担当者指導力向上研修」等における特別支援学級及び通級による自立活動の指導の充実 		
地域とともにある学校づくりの推進		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭や地域から信頼される学校づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人的・物的資源の有効活用による特色ある教育活動を展開し、地域とともにある学校づくりを推進するためのコミュニティ・スクール等の導入や学校評価の充実 ・不祥事を決して起こさないという職場の雰囲気づくり ・安全で、安心して学ぶことができる体制づくり ○ キャリア教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア・パスポート等の活用及び教育課程全体を通じたキャリア教育の推進 ○ 就学前教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・生きる力の基礎を育むために、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を活用し、幼児期までの教育・保育と小学校以降の教育との円滑な接続の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭教育支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・各学校における「親の学び」講座（保護者向け・中高生向け）の推進 ○ 地域学校協働活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・五者連携によるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進 ・幅広い地域住民等の参画及びボランティアチームやくまモン先生の派遣等による地域学校協働活動の充実 ○ 生涯学習の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・読書に親しむ機会の設定や読書アドバイザーの派遣等による子供の発達段階に応じた読書活動の推進 	